

第2回 ロヒンギャ難民緊急街頭募金活動について

ボランティア部

1 活動内容：人道支援を必要としているロヒンギャ難民への募金活動

2 UNICEF ロヒンギャ難民緊急募金ホームページより

2017年の夏にミャンマーで激化した暴力から逃れるために、少数民族のロヒンギャの人々が隣国のバングラデシュに逃れています。バングラデシュのコックスバザール南部には、すでに地元住民の人口を上回る68万8,000人以上の難民が押し寄せ、過密するキャンプや仮設居住区で避難生活を送っています。この難民危機により子ども72万人を含む120万人もの人々が、命と安全を守るための緊急の人道支援を必要としています。

3 実施日時：平成30年6月16日（土） 9:00～11:00

4 実施場所：姫路城前～大手門公園前の歩道

5 参加生徒：当日はボランティア部員7名と異文化理解選択の3年生が参加してくれました。

表1 活動に参加した生徒数

	男子	女子	計
3年		2名	2名
1年	1名	4名	5名
計	1名	6名	7名



写真1 大手前公園での集合風景

6 募金総額：33,158円（全額ユニセフに寄付）

表2 活動に参加した生徒数

硬貨・紙幣	枚数	金額
1円	73枚	73円
5円	23枚	115円
10円	96枚	960円
50円	26枚	1,300円
100円	107枚	10,700円
500円	14枚	7,000円
1,000円	13枚	13,000円
合計		33,148円



写真2 姫路城前での活動風景

7 活動報告

約20名の生徒で活動しました。異文化理解選択者の3年生が、ロヒンギャ問題や募金をお願いするポスターを英語で書いてくれました。異文化理解を担当して頂いている松永教諭には感謝します。そして、朝日新聞と神戸新聞の取材を受けました。

海外で起こっていることに目を向ける機会の少ない生徒たちですが、インターアクトクラブの例会やこのような活動を通じて、少しでも世の中で起こって問題に関心を向けてくれれば、募金活動だけに終わらないで+αの効果をもたらしてくれると思います。